

# 令和3年度 第2回前橋市みんなですすめる歯と口腔の健康づくり連絡会議ご意見

R3.2.24書面開催

## 1 集計結果

### 議事

(3) 妊婦歯科健診の実施状況について 資料3

意見・質問あり 4件

(4) 前橋市職員歯科アンケートの調査結果について 資料4

意見・質問あり 4件

(5) 食育に関する市民意識調査について 資料5

意見・質問あり 4件

## 2 意見と対応

### 議事(3)妊婦歯科健診の実施状況について

No.	発言者	ご意見	回答
1	委員	前橋市職員の結果と比較しても妊娠している方は歯科健診の意識が高いと思われま。受診率も50%超えそうです。今後も受診勧奨を継続していただきたい。	(子育て支援課) 生まれてくるお子さんや妊婦さんの口腔の健康のためにも、歯科健診の重要性を受診票交付の際や健康教室を通して周知していきます。
2	委員	受診率に、コロナ禍の影響が見られないのは素晴らしいことだと思います。この歯科の意識の高さが、妊娠期後も継続されればいいと思いますが、そこが難しいところです。	(子育て支援課) 妊婦さんやご家族には、妊娠期で改めて口腔の健康への意識をもつていただき、出産後も家族ぐるみでかかりつけ歯科医院で定期的に歯科受診をしていただけるよう、妊婦歯科健康診査の受診勧奨と併せ、健康教育・相談でも周知をしていきます。
3	委員	コロナの影響もあり、R2年度は受診率が減少したものの、R3年度は2月末時点でも5年間で最高の受診率であり、全体を通して増加傾向にあることは、周知と受診勧奨活動の成果だと思います。今後、更なる効果を期待しています。	(子育て支援課) 今後も妊婦歯科健康診査の重要性を周知し、受診率が向上するよう受診勧奨活動を実施していきます。
4	委員	受診率をみると毎年少しずつ上がってきてはいますが、多くはないようです。必要性は感じていても何も症状がなければ大丈夫と思う方がほとんどでは？生まれてくるお子さんのためにも、健診は義務だと思って行ってほしいです。	(子育て支援課) 口腔内は自覚症状を感じにくく、気がついた時にはむし歯や歯周病が進行している場合があります。今後も歯科健診の重要性及び、家族みなさんが定期的に歯科健診を受け、口腔の健康を保てるよう周知していきます。

### 議事(4)前橋市職員歯科アンケートの調査結果について

No.	発言者	ご意見	回答
1	委員	市職員のわりには、オーラルフレイルの認知度が低いのが気になりました。一般市民になるとより低くなるのが考えられるため、引き続き啓発を行っていただきたいと思ひます。	(長寿包括ケア課) オーラルフレイルのみならず、フレイル＝高齢者の介護予防という意識を払しょくする必要があります。職員には市職員向けの情報発信ツールを利用し、かかりつけ歯科医の定期受診や歯科検診の受診勧奨とともに、歯科口腔衛生の啓発を行って参ります。
2	委員	前橋市職員の方のアンケート結果は、おそらく社会の縮図かもしれません。やはり現実はそうかと改めて知ることができ、とても参考になりました。この会議でも、成人健診の受診勧奨を商工会議所様から、企業に働きかけをお願いしましたが、市職員の方々にも健診の重要性の周知、受診勧奨の機会を増やしていただけると良いと思ひます。子供さんと(75%受診)一緒に受診していただきたいです。	(健康増進課) 今回のアンケートの結果を分析し、各世代への効果的な情報を発信していけるよう努めます。また、歯と口腔の健康が全身の健康につながることや、乳幼児期からの定期健診の重要性、オーラルフレイルの予防など、関心がいくよう引き続き周知啓発に取り組んでいきます。

3	委員	アンケート結果をみて、オーラルフレイルについて知らないと回答された方がどの年代においても高いことが分かりました。歯周病は歯を支える骨を溶かして歯を失わせるだけでなく糖尿病や動脈硬化にも関与し、全身に様々なリスクを引き起こし対策が必要なことを引き続き高齢者分野でも周知していきたいと思っています。	<b>(長寿包括ケア課)</b> 当課で行っている一般介護予防事業における歯科アンケートでは、オーラルフレイルの認知度は年々上がってきており、62.8%となっております。今後は関係各課と連携しながら、若い世代からのオーラルフレイルの周知、全身の健康維持につながる口腔ケアの重要性を伝えてまいります。
4	委員	前述と同じで、予防のために定期検診している人は、半数以上はいるようですが、男性においては、行かないほうが4割を超える。やはり歯科にはなかなか足が向かない？成人、日本人の歯周病率は8割と聞きます。これからの子どもたちの歯を守るためには大人がすすんで口腔ケアに取り組まないといけないですね。	<b>(健康増進課)</b> 今後、企業への働きかけができるように、働く世代の現状を把握、分析し、それらの世代への効果的な情報発信に努めていきます。また、ウエルネス通信や、協会けんぽのチラシ等で、必要な情報を提供し、成人歯科健診受診につながるよう取り組み、歯周病予防が全身疾患と関連していることを周知していきます。

### 議事(5)食育に関する市民意識調査について

No.	発言者	ご意見	回答
1	委員	成人歯科健診の認知度が一般でも64%なので、引き続き啓発を行っていただければと思います。	<b>(健康増進課)</b> 今年度は6月に開催予定の歯と口の健康フェアで、成人歯科健診のチラシでの周知や、ラジオでの周知等行う予定です。若い世代の学生や、企業への働きかけができるよう効果的な情報発信に努めていくとともに、関係団体、関係者と連携して広めていきたいと思っています。
2	委員	【一般・大学生】6の設問についてですが、無料歯科健診を知らない人がかなりいましたが、私自身も知りませんでした。私は健保・家族で医療を受けており定期健診も会社補助の人間ドックで済ませています。市から届いた封筒の中を確認することなく、1年保管した後に破棄していました。受診シールを全く活用していなかったことに反省しています。	
3	委員	中学生、高校生の定期受診率は、6か月毎年1回合わせると、50%以上なので、更なる増加を期待したいです。中学生、高校生への受診勧奨、歯科指導の機会が増えると良いと思います。大学生は、実家にいないと、歯科受診する機会も周知啓発する機会もほとんどないので、「はたちの歯科健診」として、何か成人式や、その案内等に関連づけて周知したり、帰省の機会に受診してもらえるようにお勧めしていただけたらと思います。	<b>(教育委員会)</b> 中学校においては、歯周病などの歯科疾患を予防するため日常生活の注意点についての講話や実践的指導を含めた健康教室を開催しています。また、歯と口の健康週間等の機会を捉え、継続した歯と口の健康づくりに対する意識向上を図っています。 <b>(健康増進課)</b> 若い世代からかかりつけ歯科医をもち、むし歯や、歯周病の予防をしていくことの重要性や、全身の病気が深く関わることの周知・啓発を引き続き行っていきます。
4	委員	小学生や、中学生の頃から定期的に歯科受診の習慣をつけると、高校生以降も受診しやすくなるのではないかと思います。(高校生以降の歯科受診率が下がっているため)	<b>(教育委員会)</b> 小中学校で行っている「歯と口の健康教室」では、小学校においては噛むことや、食事の大切さなど、歯科疾患を予防するための注意点やブラッシング指導を、中学校においては小学校高学年から、増加傾向にある歯肉炎に焦点を当てた講話や、実践的指導を実施しています。各年代に起こりやすい問題解決に向けた指導を行うことで、現在の問題解決で終了することなく、定期的な歯科受診の習慣を含め、生涯を通じた歯と口の健康づくりに対する意識づけを行ってまいります。